

六魂祭

— 多彩な東北が結束し、共に支え合うかたち —



01

「多彩な東北の個性が1つになり支えあう」

東北6県の祭りが結集し、震災からの復興と輝きある未来を目指して行われる東北絆祭り（東北六魂祭）のバビリオン。各県の特徴ある祭りの展示があり、展示空間を作り出す各部分によって全体が作り出される形式をとる。

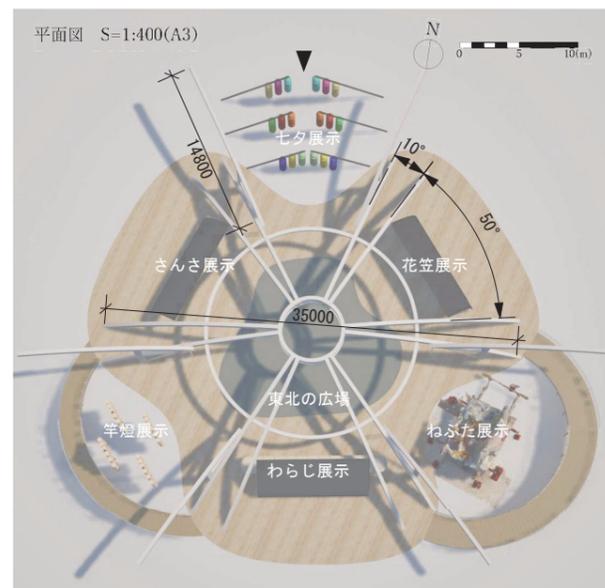
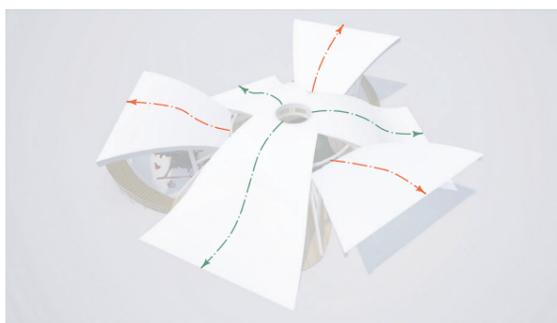


画像提供) 福島あらいまつり実行委員会 / 秋田まつり公式サイト / 山形県ホームページ
仙台七夕まつり協賛会 / 盛岡さんさ踊り公式ホームページ

02

「中央の広場・覆う3県と発信する3県」

6県が支え合うような構造によって東北の広場が作られ、そこに3県が屋根をかけ、ほかの3県は東北を発信して広げるための屋根をつくる。

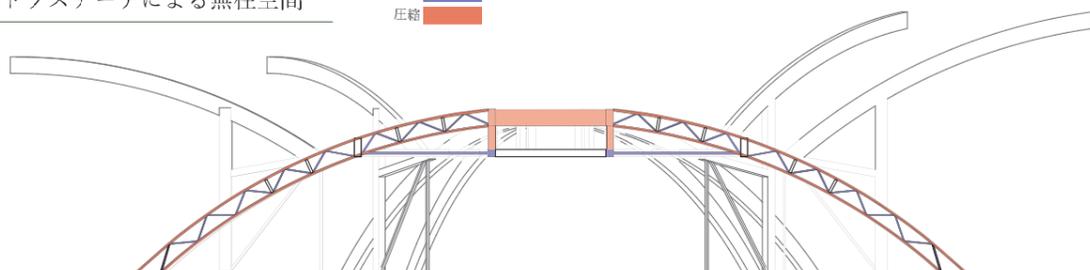


03 構造概要

東北大学 内田 光樹 / 粕谷 優 / 菊池 健吾

◆トラスアーチによる無柱空間

引張
圧縮



鉄骨のアーチを6方向に架け、無柱空間を実現する。アーチ構造+トラス構造にすることで軽量化し、部材量は減少する。張弦梁のような構造を作る。

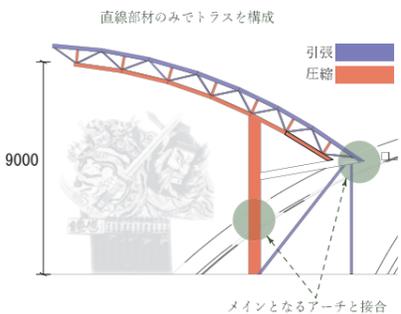
◆トラスをつなぐリング



トラスをリングでつなぎ、一体とすることで水平剛性を上げる。

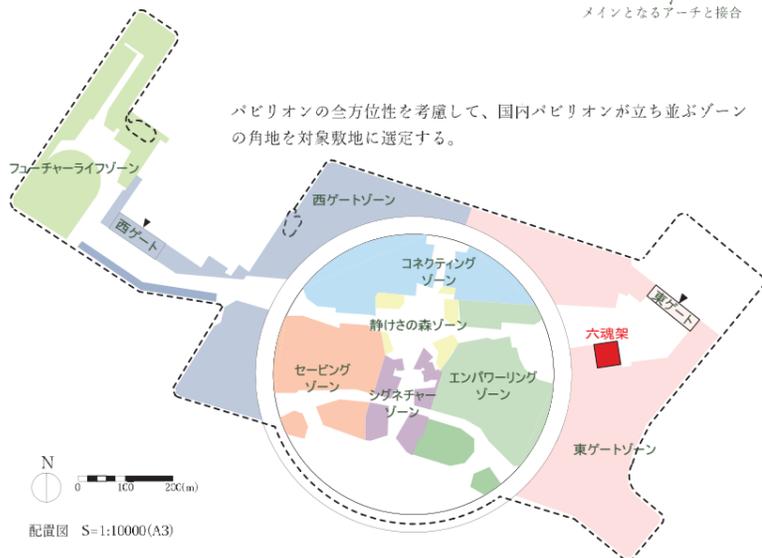
◆大屋根を支える構造

最大10m弱の高さを持った祭りの展示を覆う大屋根を外に広がる向きにかける。屋根端からケーブルを伸ばし、引張で屋根荷重を負担する。メインとなるアーチと接合させて水平剛性を持たせる。



メインとなるアーチと接合

バビリオンの全方位性を考慮して、国内バビリオンが立ち並ぶゾーンの角地を対象地に選定する。



各県の展示に囲まれ、アーチ屋根に覆われた広場で演舞が行われる